

一色川のホタルを守る取り組み

―地域コミュニティと一体となったホタル生息地の環境保全活動―

戸田建設(株) (社長：井上舜三) は、ホタルの自然繁殖数で東日本随一を誇る山梨県南巨摩郡身延町一色地区で、ホタルの育成のための環境保全活動に取り組んでいます。

この一色地区で当社が現在施工を行っている「中部横断自動車道 醍醐山トンネル工事^{※1}」は、トンネルの坑口付近を、ホタルが生息する一色川が流れています。このため工事から発生する排水が一色川へ流れ込み水質を悪化させ、ホタルの生育に悪影響を与える恐れがありました。

このため当社では、新開発した「TSフィルターろ過装置」を用いた濁水処理システムを設置し、河川における浮遊物質(SS)を2.0ppm以下(一色川への排水基準25ppmの10分の1以下)に抑えるという厳しい排水基準を設けて排水することで一色川の水質を保全できました。

このほか、ホタルの飛翔期には作業所から漏れ出る光をさえぎるために寒冷紗を設置したり、地元身延町一色ホタル保存会の活動に参加して夏場には一色川周辺の草刈りを行っています。

これらの活動により、同保存会より感謝状をいただきました。また当社においても、優れた環境保全活動に対して表彰を行う戸田地球環境賞^{※2}を授与しています。

戸田建設では、このような建設業本来の活動を通じての環境保全とともに、地域コミュニティと一体となった環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。



写真1 濁水処理システム



写真2 TSフィルターろ過装置



写真3 一色川のホタル



写真4 寒冷紗設置状況

※1 中部横断自動車道 醍醐山トンネル工事

山梨県南巨摩郡身延町に位置し、中部横断自動車道の国土交通省が直轄する延長 24.0km 区間内のトンネル工事（延長 2.4km 内当社施工分約 1.1km）です。

当トンネルを施工する一色地区は、地元ホテル保存会の長年の努力により蛍の自然繁殖数東日本一を自負する自然豊かな場所です。

【工事概要】

所在地	山梨県南巨摩郡身延町一色地内
発注者	国土交通省関東地方整備局
施工者	戸田建設㈱
施工期間	2009.03.31～2012.01.31
工事内容	トンネル工 L=1154.5m

※2 戸田地球環境賞

環境保全活動に積極的に取り組み、顕著な成果を上げた活動を表彰することにより、職場の環境意識の高揚と環境保全活動の推進に資することを目的として設置した社内表彰制度です。作業所や事務所での事業活動における環境負荷低減活動、営業活動における環境負荷低減への提案、環境技術の研究開発、環境マネジメントシステムの改善や効率化の推進、環境ボランティア活動などの取組みを表彰対象としています。2003年に第1回目の表彰が行われ、今年で第9回目を迎えました。